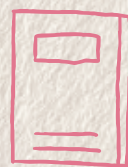


うさぎっ子 クラブ

家庭のようなあたたかい保育を



Mission

地域の子育てを トータルサポートする

保護者の自主組織から始まった「うさぎっ子クラブ」

行政のサポートが得られなかった50年前に

子育ての困り事を地域の皆で解決しよう！

と地域の保護者たちが活動を始めました。

私たちは先輩方の意志を引き継ぎ

地域の子どもたちの子育てを

トータルサポートする組織であり続けます。

わたしたちの歩み

1975年	保護者の 自主運営	保育を必要とする保護者が集まり 北本市内で学童保育事業を開始
1979年	連絡協議会	学校ごとに存在した 学童の統一組織
2011年	NPO法人	正式にNPO法人化
2013年	NPO法人 (指定管理)	北本市指定管理者として運営
現在		

保護者の「子どもたちに何かしてあげたい」という思いを根底に

50年もの間、学童保育を運営し続けています。





「おかえり」

うさぎっ子クラブの学童保育は、このあいさつからはじまります。

子どもとの関わりを大切にした 家庭のようなあたたかい保育を

安心できる **居場所** でありたい

学童が子どもたちにとって安心できる場となるように
学校から帰ってきた時の表情を注意深くとらえ、
一人ひとりと丁寧に向き合っています。



うさぎっ子クラブが大切にしている 5 つのこと

1 遊び

全力で子ども達と一緒に遊びます。外遊び、伝承遊び、手先を使った遊びなど子ども自身の「やりたい」を大切にし自主性を伸ばします。



2 おやつ

毎日手作りおやつを提供しています。栄養はもちろん、子どもたちの食育のために支援員がメニューを考えています。



3 行事

節目ごとに集団活動の一環として様々な行事を開催しています。遠足やお祭り、クリスマス会などを通して通常保育とは違った子どもの成長を促します。



4 生活

子ども一人ひとりが大切にされる生活づくりに努めています。安定した生活習慣はもちろん、障がい・異なる文化や習慣をもった子どもにも配慮しています。



5 保護者

学童が保護者にとっても「第二の家庭」となるように、共に子育てへの悩みに向き合います。



コラム

ご存知ですか？
学童保育には2種類の
保育スタイルがあります。

リスク重視、監視型

リスクを避けた保育内容で、トラブルの時だけ対応する。子どもの自主性より、課題をつけた遊びによる行動制限をおこなう。

発達重視、従来型

リスク管理を行いながらも、児童期に必要な経験と体験をさせる保育。支援員が子どもたちと関わり共に学び、子どもの社会性を育む。

うさぎっ子は
こっち！

うさぎっ子クラブはただのNPOではありません ハイブリッドNPOです

学童運営体制のいいとこどり、それがハイブリッド



運営体制の比較

ハイブリッドNPOである理由

	うさぎっ子 クラブ運営	公設運営	企業運営	父母運営	NPO運営
保育内容	 子ども重視	 リスク回避	 監視型	 子ども重視	 子ども重視
父母負担	 軽い	 軽い	 軽い	 重い	 やや重い
本部運営体制	 得意	 普通	 得意	 素人	 素人
その他	保育内容充実 運営能力大	行政負担大	利益追求	父母負担大	運営が苦手

家庭的な保育



大規模になっても外遊び、手作りおやつ
お昼作りなど子どもの発達と経験を大切
にした保育を実施。子どもの成長を常に
考え優先する保育スタイルです。

本部運営の組織化



最新の組織マネジメント手法を導入。
現場と本部の連携が取れているため、
各学童の課題を本部と共有しながら課題
解決できます。

父母負担が軽い



本部運営はNPO職員が担います。また
NPO理事も職員が担うように変更する
など、さらなる負担改善を行っています。

情報共有のDX化



現場支援員の業務負担を軽減するため
に、DX化、ICTの活用を行っています。
チャットシステムやWebフォームを利用
することで業務の効率を図ります。

01 迅速な運営ができる理由

本部の安定は組織の安定

🐰 5名の幹部職員

理事長を中心に5名の幹部が的確な判断を実施し、組織としての一貫性を保ちます。

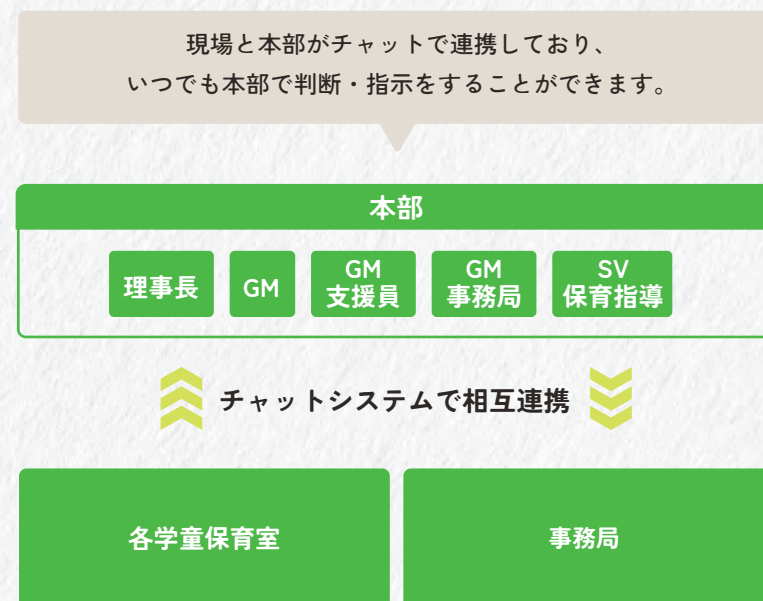
🐰 業務継続性

複数の幹部職員が存在することにより、幹部不在で判断が遅れることはありません。

🐰 チャット・リモート作業

離れた場所からも現場の状況を常に把握でき、災害時にもリモートからの指示や判断が可能です。

うさぎっ子クラブ体制図



02 事務局体制

🐰 透明性のある金銭管理

- ・外部の税理士によるチェック体制
- ・外部監事による年1回の会計監査

🐰 労務関連

外部社労士と連携し、労務コンプライアンスを定期的に確認しています。

🐰 指定管理業務に精通

指定管理業務を10数年行ってきたことで培った管理ノウハウがあります。



03 本部と現場の連携体制

学童拠点任せにしない 本部と連携した学童運営

- ・日々の業務に忙殺される現場では対応できない部分をサポート
- ・重要事項は本部を交えて迅速に判断を実施
- ・本部から全拠点へ情報を横展開することでサービスレベルを均一に保つ

Q

学童保育で本部の人員はそんなに必要ですか？

A

利用者、現場支援員、行政にとってメリットがあります。

- ・全体管理がスムーズになり、利用者満足度が向上
- ・現場支援員の負担軽減は、事故などのリスク軽減に直結
- ・本部に管理能力があるため、行政側の管理負担が軽減

04 問題対応は完璧なまでに

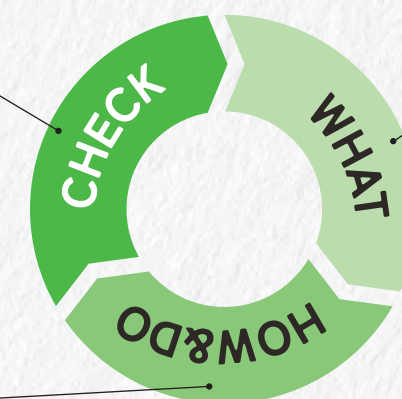
ビジネスフレームワークを活用した問題解決手法

星取表と経過観察

対策が実施されているか？
成果は出ているか？
本部が定期的に経過観察をしています。
成果が出ない場合は次の解決サイクルに入ります。

対応策の立案と実施

見極めた原因への対策を講じます。
必要に応じて「暫定対策」と「恒久対策」の二段階にします場合もあります。



問題の原因追求

問題にはかならず「直接原因」と「根本原因」があります。
問題の原因を見極め、場当たり対応にならないように対処します。

05 DX・ICTを活用した業務負荷軽減

エキスパートITエンジニアの理事長がICT化を牽引

🐰 紙からデータへ



業務情報を紙からデータへ移行しました。全ての事業所のデータを本部に集約したことで、情報の分析・共有がスムーズに行えます。

🐰 チャットシステム



チャットの導入により職員間・拠点間の即時情報共有が可能になり業務がスピーディに。電話対応等の時間削減や印刷物の削減にもなります。

🐰 連絡システム



重大な怪我などが発生した場合は、本部に即時通知が届くシステムを導入し、保護者からの欠席連絡にはWebフォームを利用しています。

06 自走能力とNPOだからできること

営利よりも子どもの安全を優先する運営ポリシー
自主的に判断できる自走能力

将来の予測能力

提案能力

計画能力

事前準備

例 北本市南学童の過密問題を自主的に解消

南学童保育のある南小地域は、住宅開発が進み児童数も増加傾向にある地域でした。うさぎっ子クラブとしては、次年度の利用児童数が大幅に増えることを見越して、事前に対策をとりました。

2023年度 夏	●	うさぎっ子クラブから行政に学童分割を提案 → 行政一旦保留
2023年度 秋	●	分割をシミュレーションし段取り調整 自費でバスを購入
2024年度 4月	●	新学期登録人数130名超 初日の登室人数が100名を超える 行政もこれ以上は危険だと判断
2024年度 5月	●	南学童分割運用開始 同時にバス運行による児童送迎

先回り
事前準備

07 多角的な職員研修

活発な研修・活発な勉強を保育に還元

職員会議

毎週火曜日に実施しています。全職員が集まりスキルの向上・課題解決に努めています。

外部研修

県主催の研修に全員参加しています。埼玉県連の講師には、弊法人初代理事長の新井も名を連ねています。

内部研修

応急処置・安全管理・AED・防犯・衛生管理、アレルギー対策などの研修を実施しています。

管理者研修

管理者は支援員とは別スキルと捉え、管理者人材の育成に力をいれています。



08 全員が楽しく動ける組織づくり

自分の特性を活かしチャレンジできる環境
支援員の特性を活かした人員配置

うさぎっ子クラブの組織運営

職員が楽しく働ける理由

支援員の提案を積極的に採用

- 自らの考えを提案しチャレンジできる
- 自分のスキルを発揮することで自信が得られる

年功序列ではない管理者登用

- 経験年数に左右されない適材適所の配置
- 新人でも良い意見は採用され、誰もが主役になれる

個性に合わせた業務配分

- 平等の業務配分ではなく、効率的な業務配分
- 得意を活かした才能の把握と適切な管理体制

一人にしない職員同士の連携

- 課題を共有し、目標の達成を共に分かち合える職員関係
- 失敗へのフォローと新たな挑戦を手助けする本部体制



学童にとどまらない うさぎっ子クラブの活動

うさぎっ子クラブは地域の子育てを サポートするために事業を展開しています



1 不登校の子どもの居場所づくり



Arc (アルク)

北本団地

近年増加する不登校児童。学童利用児が不登校になると、保護者が働きに行けなくなってしまい死活問題に。不登校支援もうさぎっ子クラブの使命と考え、自己資金で子どもたちの拠り所となる施設を開所しました。

3 STEAM教育の民設学童



団地学童

北本団地

利用者が増え続ける公設学童の混雑緩和のために、民間の学童を開設しました。子どもたちに豊かな体験をしてもらえるようにSTEAM教育を取り入れています。プログラミング・美術・英会話・書道などを体験できます。

2 こども食堂

保護者の相談の場

心配な家庭の観察

利用者同士の交流



Kitchen Capra Blu

北本団地

利用数の増加で、保護者とゆっくり話をする時間が減ってきました。学童とは別に気軽に相談ができる場所をつくろうと子ども食堂を開設しました。食事をするだけでなく利用者同士の交流も増え、悩みを分かち合える場となっています。

4 学童保育コンサルティング

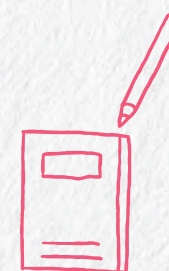
組織運営体制の確立の仕方

DX・ICT導入

保護者との関係づくり

支援員の教育

学童保育県連での登壇



学童保育運営50年のノウハウを活かして学童保育運営全般のコンサルティングを行っています。他の自治体や事業所に展開できるほどの業務ノウハウを持っています。



うさぎっ子クラブの運営は 人を幸せにする

子どもたちも、子どもに関わる大人も、すべての人を幸せに

支援員



事務作業の負荷が軽減され、子どもたちとの時間を増やすことができます。給料改善が期待できます。

子どもたち



遊びや食育などの家庭的保育でたくさんの刺激をうけ、社会性や自立性を高めることができます。

保護者



子どもを安心安全に預けることができます。子育て負担は軽減され、悩みも相談できます。

行政



スムーズな運営を任せることができ、業務提案を受けることで担当部署の負荷を軽減できます。

地域



単なる時間預かりの学童ではなく、地域の子育ての一翼を担う存在ができます。

▼ こんな声が集まっています ▼

子どもたち



中丸学童保育室
児童 篠塚 謙心 さん

学童は楽しいことがいっぱい！友達と遊んだり、いろんな道具で遊べます。遠足やキャンプなどの行事も楽しいし、おやつも美味しい！特に焼きそばが好きです。毎月の誕生日会では豪華なおやつが出るので楽しみです。たまに先生とケンカしちゃうけど、毎日楽しく過ごしています！

支援員



東第二学童保育室
支援員 松本 みずき さん

学童は、子どもたちがホッとできる第二の家庭。子どもたちが自分で遊びを考え、学年関係なく生活できる環境づくりを心がけています。季節の手作りおやつも大人気！下校すると「今日のおやつは何？」と子どもたちの笑顔が溢れます。私たち支援員は保護者が安心して働けるよう、日々の会話を大切にしています。

保護者



中丸東学童保育室
保護者 黒川 有紀 さん

我が家は、夫婦でフルタイムで働いているので、学童保育室という存在はとても大きく、安心して働ける理由の一つでもあります。北本の学童は、他市と比べてもたくさんの行事や手作りおやつ、お昼作りがあり知人からもうらやましがられています。これからも、今の時代に合わせた形で、北本の学童保育室の顔として、頑張りたいと願っています。

保護者



西学童保育室
保護者 齋藤 地夏 さん

2年前に近隣の市から北本市に引っ越し、西学童保育室にお世話になっています。北本市の学童保育室は、公設なのに1〜6年生まで利用できることが良いところだと思います。おやつを支援員さんがほぼ毎日手作りしてくれることに感謝しています。児童の人数が多いのは悩みですが、他学年の子ども、のびのび過ごせており、安心して子どもたちを預けられる場所になっています。



うさぎっ子
クラブ

うさぎっ子クラブ

〒364-0031

埼玉県北本市中央2-92-2 内田第一ビル3階

048-594-8637

<https://www.kitamoto-usagi.com/>

